

平成29年1月31日

東京都ライフル射撃協会 会員各位

選手強化委員会  
委員長 田中 信彦

## 平成29年度国体候補選手の選考基準について

(必ず選手本人が本書を熟読確認してください)

平成29年度の国体候補選手は、4月1日(土)～2日(日)に長瀬で行われる東京都春季大会兼国体1次予選における国体種目競技の各上位3名を対象に選考します。ただし、同競技会においては50m3×40が行われなため、50m3×20の記録を2倍換算します。また10m種目に関しては、4月9日(日)開催の10m競技会も含めた最上位の記録ひとつのみを対象とします。

- ・国体参加を希望する選手は、必ずこの競技に参加しなければなりません。
- ・やむを得ない理由で参加できない選手は、3月および4月に国内開催される日ラのG3+以上試合、東ラのG4以上の試合あるいはワールドカップ等ISSFの試合のうち1試合を、2月末日までに代替の選考対象として指定してください。
- ・国体選手の最終決定は、上記東ラ1次予選に続く東ラ2次予選および日ラ東日本選手権の3試合の記録の平均点により選考しますが、平成29年度は東ラ2次予選および日ラ東日本選手権の日程が5月28日で重複するため、この指定試合3種に出場できない選手は、前記同様に1試合を2月末日までに代替の選考対象として指定してください。
- ・これら代替試合の指定は、メールあるいはFAXにて選手本人が選手強化委員長まで直接連絡してください。
- ・CPに関しては国体選手の決定まで含め警視庁に委任しますが、4月に国体出場を希望する民間人のCP選手が現れた場合は、別途選考会を開催する場合があります。
- ・ジュニアに関しても同様に決定まで高体連に委任しますが、ARの選手は可能な限り長瀬でのこの競技に参加してください。
- ・複数種目への参加により、同一選手が多数3位以内に入った場合は、点数を考慮の上で4位以下の選手が選考される場合があります。
- ・東京都体育協会のオリンピック候補選手強化事業の対象選手も、これと同様の選考基準とします。